

生物多様性ひょうご戦略 (2025~2030年度) の改定

侵略的外来種の侵入や、野生鳥獣の被害、プラスチック汚染など、生物多様性を取り巻く様々な環境課題に的確に対応するとともに、生物多様性を守り、持続可能な利用に向けて取り組むべき行動指針として、「生物多様性ひょうご戦略」を改定

< 戦略の概要 >

1 位置づけ

兵庫県環境基本計画の **自然共生分野の具体化を図る個別計画**

2 戦略の理念

自然の恵みと命の支え合いを理解し、自然への畏敬と感謝を持ち、人と自然の調和を大切にしながら、豊かな兵庫の自然を未来に引き継ぐ

生物多様性が育む「恵み豊かなふるさとひょうご」を私たちの手で未来へつなぐ

3 めざす姿

- ☑ 県民の生物多様性保全への理解と意識が高まり、**ネイチャーポジティブ(自然再興)が実現**
- ☑ 野生動物の適正な保護管理が行われ、**人と野生動物が共存**
- ☑ 多様な担い手によって里地里山・里海が適切に管理され、**豊かな自然と風景が保全**
- ☑ 人と自然とのふれあいの場が充実し、身近に**豊かな自然や文化を体感**

4 数値目標

県土(陸域)の自然環境保全割合 **30%**(2030年度)



生物多様性ひょうご戦略 (2025～2030年度) の改定

5 基本戦略及び行動目標

生物多様性を取り巻く危機に対応するため、3つの基本戦略ごとに行動目標を立てて各種施策を推進

基本戦略

I

豊かな自然環境の
適切な保全

《行動目標》

- 30by30(サーティ・バイ・サーティ)の推進
- 侵略的外来種の防除
- 野生鳥獣の適正な保護管理

基本戦略

II

自然の恵みを活か
した地域づくり

《行動目標》

- 里山・里海の再生
- 生態系を活かした防災・減災
- 生物多様性に配慮した農林水産業の推進

基本戦略

III

豊かな自然を未来へ
つなぐ仕組みづくり

《行動目標》

- 生物多様性の理解促進
- 生物多様性を支える人材育成の推進
- 多様な主体が支える基盤の充実

